

2020年1月14日

各 位

第86回皇后杯 JX-ENEOSサンフラワーズが7連覇達成！ ～大会最多24回目の優勝～

JX-ENEOSサンフラワーズ（ヘッドコーチ：梅畚 英毅）は、1月12日（日）に行われた第86回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会決勝戦におきまして、デンソーに83対53で勝利し、大会7連覇および最多記録を更新する24回目の優勝を達成しましたので、お知らせいたします。

決勝戦では、鉄壁のチームディフェンスで相手を抑えるとともに、宮澤選手がチーム最多となる21得点、次いで岡本選手が13得点を挙げるなど高い得点力を見せ、勝利を収めました。

今大会活躍した選手に贈られるベスト5に、渡嘉敷選手（10年連続10回目）と宮澤選手（4年連続4回目）が選出され、攻守ともに活躍した渡嘉敷選手は、最も名誉ある大会MVPを初受賞しました。

JX-ENEOSサンフラワーズは、2月22日（土）から再開する第21回Wリーグにおいて、前人未到となる12連覇を目指し戦ってまいります。引き続き、温かいご声援をよろしく願いいたします。



<試合結果>

| 日程 | | 対戦チーム | スコア |
|---------------|------|--------------|-------|
| 2020年1月10日（金） | 準々決勝 | アイシン・エイ・ダブリュ | 75-41 |
| 1月11日（土） | 準決勝 | トヨタ自動車 | 82-48 |
| 1月12日（日） | 決勝 | デンソー | 83-53 |



とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<コメント>

| | |
|---|--|
|  | <p>梅寄 英毅ヘッドコーチ</p> <p>沢山の応援の中、私にとって皇后杯は初優勝、チームは7連覇24回目の優勝と最高の舞台で最高の結果で大会を終えることができました。次の目標であるWリーグの優勝に向け、チーム一丸となり全力を尽くしてまいりますので、引き続き温かいご声援をよろしくお願いいたします。</p> |
|  | <p>岡本 彩也花キャプテン</p> <p>いつも温かいご声援ありがとうございます。皇后杯7連覇、優勝して嬉しいのはもちろんですが、最初に思ったのはほっとしたという気持ちです。決勝戦はベンチメンバーも含め全員で40分間戦えたのが優勝につながったと思っています。次の目標であるWリーグ優勝に向けチーム一丸となって頑張りますので、今後ともご声援よろしくお願いいたします。</p> |



令和初の皇后杯を授与され笑顔あふれるJX-ENEOSサンフラワーズの選手

JXTGは、社名もENEOSへ!

以上

※ 2020年6月に開催予定の定時株主総会で定款変更が承認されることを条件に、同日日付で変更いたします。



とどけ! 熱いエネルギー ENEOS